

市議会だより



New Topics

第6回みらい泉佐野こども議会を
開催しました
令和5年度決算を認定しました

目次

- ◆ 議会活動報告 2~3
- ◆ 9月定例会の結果報告 4~6
- ◆ 一般質問 7~11
- ◆ ご案内 12



厚生文教委員会

9月9日

9月9日、厚生文教委員会では、総務産業委員会委員も参加のもと、市内の学校給食センター及び佐野中学校夜間学級を視察しました。

学校給食センター

学校給食センターでは、市内の小中学校で提供しているオーガニック給食（ミニパン、なすとベーコンのスパゲティ、ボール型カレーコロケ、いちごジャム、牛乳）を試食した後、意見交換会を行いました。



佐野中学校夜間学級

佐野中学校夜間学級では、在学生の現状やカリキュラムなどの説明を受けた後、意見交換会を行いました。
また、授業風景や校内の施設を視察しました。



高道一郎議員が、去る9月27日にご逝去されました。
同議員は、平成18年に初当選されて、4期（14年）にわたり本市議会議員を務められ、市政の発展に貢献されました。
心から、ご冥福をお祈りいたします。



高道一郎 議員
ご逝去

第6回みらい泉佐野こども議会

8月4日

8月4日（日）に6回目となる「みらい泉佐野こども議会」を開催しました。チラシやポスターで公募し、7組9名のこども議員さんに参加していただき、皆さんの意見に対して担当議員が答弁をしました。

「みんなが安全に快適にすごせる町」や「子どもが過ごしやすい町にしてほしい」などの意見があり、素晴らしい意見交換の場となりました。



こども議員の皆さんからいただいた意見・要望については、泉佐野市とも共有し、より良い泉佐野市を目指してまいります。

こども達の声が、泉佐野市の未来を創るような機会にしていきたいと思いますので、これからもよろしくお願いいたします。



議員研修

7月18日

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一氏にお越しいただき、「新たな自治体防災対策と議会、議員の役割」というテーマで、令和6年度大阪府南部市議会議長会議員研修会を開催しました。



9月2日

1月1日の能登半島地震の発生直後から25日間、延べ63名の隊員を石川県に派遣し、緊急消防援助隊大阪府大隊の一員として活動した泉州南消防組合 堀地 貴重氏、杉野 秀樹氏、玉置 智也氏にお越しいただき、「緊急消防援助隊活動報告～すべては被災者のために～」というテーマで、本市議会議員研修会を開催しました。

現地の被災状況や活動状況などについて、お話いただきました。



9月定例会を開催

議案
第55号

「令和6年度泉佐野市一般会計
補正予算(第3号)」

可決
全会一致

総務産業委員会関係

大阪・関西万博に関する地域活性化対策等関連予算として、市独自の万博無料招待事業（4歳～17歳及び当該中学生以下の保護者）に係るチケット代及び貸切バスの確保に要する経費6,099万円についての債務負担行為や、障害者雇用について国の認可を受けた特例子会社を設置する事業者に対する特例子会社設置支援事業補助金3,655万円、消防団国際分団の発足準備等に関する消防活動事業予算401万円などについて活発な質疑・審議を行った結果、全員意義なく承認し、本会議においても全会一致で可決されました。



厚生文教委員会関係

ふれあいのまちづくり事業、保育施設の紙おむつ無償化などの事業に対して活発な審議が行われました。ふれあいのまちづくり事業については、事業に取り組んでいただける町会、長生会、NPO団体等の主体に対して上限20万円の補助金を交付する地域共生推進型事業についてなど、保育施設の紙おむつ無償化については在園児の保護者の負担軽減及び保育士等の紙おむつ管理の負担軽減など多くの質疑がありました。



認定
第1～9号

決算特別委員会

可決
全会一致

令和5年度泉佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について
 令和5年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 令和5年度泉佐野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 令和5年度泉佐野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 令和5年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 令和5年度泉佐野市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算の認定について
 令和5年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 令和5年度泉佐野市水道事業会計決算の認定について
 令和5年度泉佐野市下水道事業会計決算の認定について

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が落ち着く中、インバウンドも回復し物価の上昇や賃金の上昇、設備投資の増加など経済の回復が進んだ一年となりました。

決算結果につきましては、一般会計及び特別会計で歳入108,544,783,973円、歳出107,712,274,420円でした。

結果、歳入歳出差引額は832,509,553円となりましたが、翌年度に繰り越すべき財源は51,756,000円で、実質収支は、780,753,553円の黒字となりました。

しかしながら、単年度収支額においては、346,632,742円の赤字となりましたが、定年延長による早期退職者数が増え退職手当が増加した事などが要因です。詳しくは下記の決算総括表をご覧ください。

(単位:円)

区 分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	単年度収支額
一般会計		82,306,549,760	81,996,213,460	310,336,300	51,756,000	258,580,300	△150,155,970
特別会計	国民健康保険事業	11,035,817,117	10,798,842,887	236,974,230	0	236,974,230	△322,047,769
	公共用地先行取得事業	1,396,594,012	1,396,594,012	0	0	0	0
	介護保険事業	10,024,220,916	9,750,336,724	273,884,192	0	273,884,192	121,890,109
	後期高齢者医療事業	1,483,736,059	1,472,421,228	11,314,831	0	11,314,831	3,680,888
	病院事業債管理	2,075,951,463	2,075,951,463	0	0	0	0
	りんくう公園事業	221,914,646	221,914,646	0	0	0	0
合 計		108,544,783,973	107,712,274,420	832,509,553	51,756,000	780,753,553	△346,632,742

議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第49号	泉佐野市消防団条例の一部を改正する条例制定について 消防団に国際分団（多言語サポートチーム）を創設することに伴う条例改正議案
議案第50号	令和5年度泉佐野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 水道事業会計の剰余金の処分で、1億1,579万2,181円を建設改良積立金に積み立て、1億2,826万4,617円を資本金に組み入れる議案
議案第51号	令和5年度泉佐野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 下水道事業会計の剰余金の処分で、4億4,529万6,657円を建設改良積立金に積み立て、5億3,832万5,360円を資本金に組み入れる議案
議案第52号	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び大阪広域水道企業団規約の変更について関係市町村と協議することについて 企業団が共同処理する事務に岸和田市・八尾市・富田林市・柏原市・高石市の水道事業事務を追加すること及びそれに伴う企業団規約の変更について、関係市町村と協議することについての議案
議案第53号	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更について関係市町村と協議することについて 本年12月2日以降被保険者証が発行されないことに伴う広域連合規約の変更について関係市町村と協議することについての議案
議案第54号	泉佐野市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について 本年12月2日以降被保険者証が発行されないことなどに伴う条例改正議案
議案第55号	令和6年度泉佐野市一般会計補正予算（第3号）
議案第56号	令和6年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第57号	教育委員会委員任命についての同意を求めることについて
議員発議第10号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書の提出について

表決が分かれた案件

議案番号	案 件
議員発議第11号	「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書の提出について

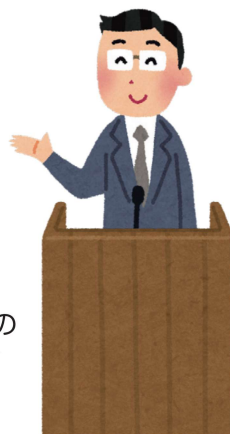
議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

議員名 議案名	新緑未来		正道の会	チーム泉佐野創生			大阪維新の会				再生市民の会	自民党		共産党	公明党			
	中藤大助 議長	布田拓也	中村慎作	向江英雄	大和屋貴彦	野口新一	新田輝彦	日根野谷和人 副議長	射手矢真之	峰浦修平	中庄谷栄孝	西野辰也	高橋圭子	高道一郎	岡田昌司	辻中隆	大庭聖一	松村正秀
議員発議第11号	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	×	×	×

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対、欠：欠席

一般質問

議員が市の一般事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問します。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて30分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます。



各議員の一般質問の内容は、本会議での発言を要約しています。質問の全内容は、泉佐野市議会ホームページの「議会ライブ中継・録画配信」、または「会議録検索」（11月末日配信予定）をご覧ください。



◀ 議会中継のQRコード

公明党
泉佐野市会議員団 代表
大庭 聖一 議員



農業について

Q 海外での日本産農作物の価値などを掌握していくことで、海外輸出の拠点化は出来ませんか？

A 日本の農作物は高品質で安全なため、海外の消費者は安心して購入できます。本市は、古くからキャベツや玉ねぎなど生鮮野菜の供給基地として重要な役割を果たし、近年、ハウス栽培で多種多様な農作物を栽培して地産地消の推進に取り組んでいます。また、農業者の高齢化や担い手不足の問題も深刻ですが、付加価値を付け海外での収益が上がる農業を展開することで担い手確保につながるのではと考えます。地産地消の取り組みを継続しつつ、農産物の価値や輸出へのニーズの把握に努め、輸出による販路拡大を検討する農業者の支援にも努めます。



防災について

Q 町会館や公民館などの利用機会を増やすために、開放することはできませんか？

A 公民館は、社会教育法に基づいて設置される教育施設ですが、地域の防災拠点としての役割も果たしています。普段から様々な人が集い、交流が生まれてコミュニティが育てば、災害時には人とのつながりが共助に活かされるものと考えられます。本市は、町会等による自主防災活動に重点的に取り組んでいます。公民館等に加入しない人が増えているのも事実であり、町会等の枠にとらわれず、災害時には様々なコミュニティが生かされるよう、公民館を平時から様々な場面で使っていただき、災害時には地域の防災拠点として活用できるように努めてまいります。



- ・農業について
- ・防災について
- ・住宅について
- ・高齢介護について
- ・道路整備について

住宅について

Q 住宅セーフティネット法の改正に向けて住宅支援協議会設立について教えてください。

A 大阪府は、住宅セーフティネット法の規定に基づき、高齢者、低額所得者、障害者、外国人及び子育て世帯に対し、公的及び民間賃貸住宅に係る一元的な情報の提供等を行っています。今般の法改正により、市町村には「住宅確保要配慮者居住支援協議会」の設置が努力義務とされ、住宅施策と福祉施策が連携した総合的かつ包括的な居住支援体制の整備・推進についても強化することが求められています。本市における住宅支援協議会の設置について検討する必要があります。本市における住宅支局と福祉・子育て部局協働で、同協議会の設置について検討してまいります。





- ・防災について
- ・福祉について
- ・保育について
- ・地域猫活動について
- ・オーバードーズ（薬物過剰摂取）について
- ・カスタマーハラスメントについて
- ・郷土芸能について
- ・廃食用油リサイクルについて

防災について

Q 能登半島地震を受けて、本市のペット同行・同伴避難について伺う。

A 本市では、ペットは飼い主にとって家族の一員であり、心よりどころとなつていると同時に、衛生管理や他の避難者への配慮が必要であることを念頭に置きながら、避難所でペットを受け入れることを基本方針としています。ペットを飼っている方に安心して避難していただくために、飼い主の方への啓発も含め、避難所でのペットの受入環境整備に努めてまいります。



地域猫活動について

Q 現在の周知・啓発活動について伺う。

A 「地域猫」の考え方、「餌やり」のルール等について、市広報紙やホームページでの周知・啓発活動に取り組んでいます。また、これまでに市役所市民ロビーでの地域猫活動を紹介するパネル展や市内の公共

施設、小中学校等へのチラシ配布を行いました。

郷土芸能について

Q 本市の郷土芸能である佐野踊りについて、大阪・関西万博で披露する機会について伺う。

A 府内43市町村の連携による自治体参加催事である「大阪ウィーク」に夏のコアイベントとして参加を予定しています。



福祉について

Q 全国的な課題である高齢者の社会的孤立・孤独の本市の現状と対策について伺う。

A 4月1日現在の本市の65歳以上は26,246人で、その約35%の9,135人が単身者となっています。このうち、身寄りのない方の全容を把握するには至っていませんが、単身者への対策として民生委員児童委員や地区福祉委員等のご協力のもと見守りや声掛け活動を行う中で、一人ひとりの状況を把握していただいています。

オーバードーズ（薬物過剰摂取）について

Q 社会問題となつている若年者の市販薬等のオーバードーズについて、本市の実態と子どもたちに対する防止対策教育について伺う。

A オーバードーズを原因とするりんくう総合医療センターへの救急搬送件数は、令和5年度は76件で令和4年度から倍増しています。

オーバードーズの背景には「つらい気持ち」があると言われており、小中学校に配置しているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる対応のほか、事案によっては医療やこども家庭課などの関係機関と連携できる体制を構築しています。また、小学校高学年を対象とした大阪府警察等による「非行防止・犯罪被害防止教室」においても、薬物に関する話をしていただいています。



廃食用油リサイクルについて

Q 本市での廃食用油の回収の現状と再利用について伺う。

A 現在、家庭から排出された廃食用油は一般廃棄物として焼却処理され、一方、食品工場等、事業所から排出された廃食用油のほとんどは、家畜用の飼料や塗料及び燃料の原料などに再資源化されています。本市では、今年度中の家庭系廃食用油の回収開始に向けて準備を進め、更なるごみの減量化、再資源化を推進してまいります。



送迎保育ステーション事業について

Q 現在の進捗について伺う。

A 現在、乗降客数が多く利便性の高い、南海本線泉佐野駅及びJR阪和線日根野駅周辺での送迎保育ステーション開設に向けて調整しています。運営は民間委託する予定で、公募型プロポーザルにより今年度中の事業化を進めてまいります。

自由民主党

泉佐野市会議員団 代表

高橋 圭子 議員



・中学校の制服について
・子育てについて
・リスキリングについて

中学校の制服について

Q 災害級の暑さが続く昨今、熱中症対策として、全国各地の学校で次々とハーフパンツとポロシャツの制服が導入されています。本市の中学校においての導入についてお考えをお聞かせください。

A 本市5中学校の制服について、ズボン、春夏用と秋冬用の2種類があります。トップスは、2校がポロシャツ、3校がカットソーシャツを採用しています。現在の制服に加え、ハーフパンツの制服を作製するとご家庭への負担が増えるため、導入は考えていません。

Q 各中学校における猛暑の際の対応を教えてください。

A 5校とも、時期にかかわらず、どちらのズボンを着用するか、半袖と長袖のどちらのトップスを着用するのか選択することが可能であり、その日の気候や体調に応じて、生徒自身が判断できます。春夏用制服をうまく活用することで、暑さを回避することが可能だと考えています。

リスキリングについて

Q 本市では、経済産業省の支援に
加え、市独自のリスキリング
チャレンジ支援事業を実施いた
しております。この支援状況や今後の
展望について教えてください。

A 本市では、昨年度から経済産業省が実施する「リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業」のリスキリング講座を受講した市民に対し、一律3万円の支援金を給付する「リスキリングチャレンジ支援金事業」を実施しています。また、9月からは、ITパスポートなどの13の資格取得に係る受験費用の7割相当を、上限2万円まで支援する「リスキリングチャレンジ支援金（資格取得支援）事業」も実施しています。リスキリングにより習得した技術と企業の求める職務とがマッチングすることで、転職の増加による賃金上昇等につながると考えています。



新緑未来 代表
布田 拓也 議員



コロナワクチンの副反応 死亡者数と安全性評価

Q 今年10月からコロナワクチンの定期接種が始まる。しかしコロナワクチンは異常な数の副反応死者数が報告されている。副反応健康被害認定者数、死者数は何人か？比較してインフルエンザワクチンでの死者数は？コロナワクチンの安全性をどう評価しているのか？

A 令和6年8月30日までの健康被害救済制度にかかる認定総数は7,994件で、その内、死亡に関する給付数は777件となっています。また、インフルエンザワクチンについての認定数は56件で、その内、死亡に関する件数は5件となっています。コロナワクチンの安全性については、国の安全対策調査会等の資料では、「これまでの死亡に係る副反応は、この報告の状況、及び国内外のワクチン接種後のリスク分析のエビデンスも踏まえると、現時点においてはワクチンの安全性に係る新たな懸念は認められない。」とされています。

・コロナワクチンの副反応と10月から定期接種化ワクチンの安全性は？
・「こども基本条例」こどもの意見をどう聞くか？
・教育を通じたウエルビーイングの向上とは
・社会教育とは何か。現状と今後について

Q 10月から定期接種が始まるコロナワクチンは新型で日本が世界初で接種する。市民の命を守ることが行政の役割ではないのか。市でも1件死亡申請がある。サイトにリンクを貼るだけでなく、死亡リスクがあることを市民にしっかり伝えるべきと思うがどうか？

A 定期接種に使用されるワクチンの一つである新型のレプリコンワクチンについても、有効性・安全性が確認され、国内承認されています。この定期接種には、努力義務はなく自らの意志と責任で接種を希望される場合のみ接種が行われます。各医療機関によって使用するワクチンは異なりますので、よくご確認をいただき、本市としましては、市民の方が接種の判断をする際の参考となる情報を、ワクチンの有効性・安全性に関する科学的知見に基づき、副反応に関する事項も含めながら丁寧に情報提供・発信等を行ってまいります。



チーム泉佐野創生 代表
大和屋 貴彦 議員



官民一体型・小中一貫型の
インターナショナルスクールの創設を

Q 大規模校化する日根野小学校が抱える課題解決策は。

A 児童数は今後も減少するものと予測されるため、現時点では校舎の増築は検討していません。小学校への通学も原則徒歩での通学を想定していますので、送迎自動車の待機場所等の整備についても検討していません。

Q 真の国際人育成を市独自で行える新たな学校の創立を。

A 本市としては、公設民営型の民間学校の創設は考えていません。

持続可能でツナガル地域コミュニティの
再構築に向けた支援策を

Q 地域SNSを活用したリアルとバーチャルを融合した地域コミュニティの再構築を。

A 町会連合会、各町会・自治会の考えを伺いながら、地域SNSを活用したバーチャルコミュニティの形成、町会・自治会のデジタル化の推進について検討を進め、従来か

- ・官民一体型・小中一貫型のインターナショナルスクールの創設を
- ・持続可能でツナガル地域コミュニティの再構築に向けた支援策を
- ・食料安全保障と成長産業化を実現する為の農業の一部公営化を
- ・災害に備えたソフト面とハード面の対策拡充を
- ・泉佐野市の真価を自覚し発信できる体制構築を

らの活動に対する必要な支援も講じてまいります。

食料安全保障と成長産業化を
実現する為の農業の一部公営化を

Q 泉佐野市の食料安全保障を実現するための農業の課題解決を。

A 宅地化が進む中で農作業を行うには多くの問題が生じています。農業機械の音がうるさい、噴霧した農薬が風で飛んでくる、道路が泥で汚れる等の様々な苦情が寄せられる事もあり、営農環境が悪化しています。大阪府と協議を重ね、農業の効率化、負担軽減、生産性の向上を目指すため、農地の集約化を推進し、効率的な農業が図られるよう努めます。

Q 食の多様性に応える成長産業化戦略と農業の一部公営化を。

A 有機農産物栽培を行える地域の調査を行っており、栽培が可能となれば地元農家に理解が得られるよう説明し協議会等を設置して、地域として有機農産物の栽培に取り組んでもらえるよう積極的に働きかけを行い、オーガニック給食の地産地消率の向上にも繋がればと考えて

います。また、上大木地区の蓮華寺から吊り橋までの間にある棚田を復活させるため、公営での実施はできませんが、有機栽培の可能性を含め行政として積極的に関わって参ります。



災害に備えたソフト面と
ハード面の対策拡充を

Q 原子力災害と大地震等の複合災害時の避難・物資搬入ルート確保を。

A 土丸栄線（産業道路）と俵屋久ノ木線（バス通り）を結ぶ道路整備については、原子力災害と地震の複合災害を考えると、避難距離も短いため、車避難ではなく、柔軟に対応できる現道を徒歩で避難していただくことを想定しており、提案の道路整備は、平時の活用も含めて地域全体の道路計画の中で検討していくべきと考えます。

岡田 昌司 議員

・自治会加入促進について
・こどもまんなか社会の実現
に向けた取り組みについて



自治会加入促進について

Q 自治会加入の意義及びメリットについて問う。また、マンションで自治会を立ち上げた後の、互助による自主防災活動の手順について問う。

A 町会・自治会は、地域の福祉増進や環境の美化・保全、青少年の健全育成のほか、大規模災害時には、地域共助の核として重要な役割を担っていたり、地域住民が互いを支えあう上で大きな役割を果たしていることに加入の意義やメリットがあると考えます。

マンションでの自治会立ち上げ後の自主防災活動については、自主防災組織を立ち上げ、災害時の役割分担を行っていただき、平時の活動としては、本市の大防災訓練に参加していただき、自治会の実情に合わせて、安否確認訓練等を行っていただきたく考えています。



中村 慎作 議員

・薬剤の多種類服用や副作用による健康上のリスクについて
・心の不調に対するケアについて



薬剤の多種類服用や副作用による健康上のリスクについて

Q 高齢者の多剤が被害につながる場合がある。市民や地域にかかりつけ薬局やお薬手帳の重要性を。

A お薬手帳を一冊にまとめて持つ、電子版お薬手帳やマイナンバーカードを健康保険証利用してマイナンバーカードでお薬情報をデジタルで管理する、かかりつけ薬局を活用するなどが、適切な服薬管理につながり、ポリファーマシーの予防対策になるため、泉佐野薬剤師会と協力し広報や啓発に努めます。

心の不調に対するケアについて

Q 市が心理士等を配置し、認知行動療法等を活かした相談業務向上やメンタルヘルスの啓蒙を。

A 本市の相談支援業務は、地域型包括支援センターをはじめとした関係機関との連携により対応しています。精神科医や臨床心理士とも連携し、病院でのカウンセリング等につなげる体制や精神保健ボランティアの育成等を図る啓発活動に努めています。

その他の一般質問

中庄谷 栄孝 議員

・米不足と学校給食に与える影響について
・さのぼ還元祭について

※議員間の申し合わせにより、個人質問は年間2回まで希望の号に掲載し、それ以外の号は質問項目のみを掲載しています。



意見書・決議

2件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書の提出について
全会一致

送付先 国土交通大臣
経済産業大臣

「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書の提出について
賛成多数

送付先 衆議院議長
参議院議長
法務大臣





豆知識

交付金と補助金について

国が実現しなければなら
ないと考える政策の実現に
向け、地方自治体に交付す
るお力ネ全般が「交付金」で
す。例えば、「社会資本整備
総合交付金」は、地方自治
体が行う道路、港湾、河川
などの社会資本の整備事業
に対して、国土交通省が一括
交付するものです。

また、国が地方自治体、
企業等を補助するため資金
の一部を交付するお力ネが
「補助金」です。例えば、
「情報通信技術活用事業
費補助金（地域デジタル基
盤活用推進事業）」は、地方
自治体や民間企業、団体に
よる通信インフラの整備な
ど地域の社会課題解決を促
進するために総務省が補助
するものです。

交付金、補助金は使途が
定められている特定財源で
すので、一般財源、地方債と
組み合わせて使われるのが
一般的です。



「どうすれば社会資本を
効率的に整備できるか」「人
口減少を食い止められる
か」など、各自自治体の目的
に沿った主体的な取り組みを
達成するための財源として
有効活用することが重要で
す。

市議会を傍聴しませんか

◆12月定例会の日程表◆

- 12月 2日(月) 本会議(議案説明)
- 12月 3日(火) 総務産業委員会
- 12月 4日(水) 厚生文教委員会
- 12月10日(火) 関空りんくうまちづくり特別委員会
- 12月11日(水) 行財政委員会
- 12月12日(木) りんくう総合医療センター対策委員会
- 12月18日(水) 本会議(一般質問)
- 12月19日(木) 本会議(一般質問)
- 12月20日(金) 本会議

※午前10時開会予定です。なお、日程は変更することがあり
ます。

※手話通訳をご希望の方は、議会事務局までお問い合わせくだ
さい。

表紙の写真



第6回みらい泉佐野こども議会を開催しま
した。

市議会だより編集委員

岡田昌司	高橋圭子	射手矢真之	中藤大助	野口新一	副委員長	中村慎作	委員長
------	------	-------	------	------	------	------	-----

●お問い合わせ

泉佐野市議会事務局

●発行 / 泉佐野市議会

T598-8550 泉佐野市市場東1丁目1-1

●編集 / 市議会だより編集委員会

EX-メール gikai@city.izumisano.lg.jp
電話:072-463-1212 FAX:072-462-5918